

令和3年度「元気ちば！健康チャレンジ事業」 事業評価（令和4年1月末時点）

事業目標	ストラクチャー評価(構造)	プロセス評価(過程)	アウトプット評価(事業実施量)	アウトカム評価(結果)
評価項目・評価指標	(1) 事業の実施体制 (2) 有識者会議で協議 (3) 予算の確保 (4) 介護部門と国保部門との連携 (5) 次年度の事業実施の準備	(1) 市町村との連携調整 (2) 協賛店の獲得 (3) 事業の周知	(1) 市町村状況調査の実施 1回 回答市町村数 54市町村(100%) (2) 市町村説明会の実施 1回 参加市町村数 54市町村(100%) (3) 市町村からの相談件数 (4) 協賛店からの相談件数 (5) 啓発資材の作成枚数 事業周知チラシ: 88,500枚 協賛店募集チラシ: 20,000枚 ポスター: 700枚	(短期的なアウトカム評価) (1) 連携市町村数の増加 (2) カード交付枚数の増加 (3) 協賛店数 1,000店 (R3年度) ----- (長期的なアウトカム評価) 健康ちば21(第2次)の評価指標で該当する項目の改善 ・ 県の健康寿命の延伸 ・ 栄養・食生活に関する項目 ・ 身体活動・運動に関する項目 ・ 循環器疾患に関する項目等
実施状況と評価	(1) 委託業者と月1回以上打合せを行い、事業を実施することができた。 <u>達成</u> (2) 第1回健康ちば地域・職域連携推進協議会(8月27日開催)にて事業の進捗状況を報告し、意見をいただいた。 <u>達成</u> (3) 事業継続にあたり必要な額の予算を要望し、確保することができた。 <u>達成</u> (4) 高齢者福祉課・保険指導課と打合せを行い、各課の事業を共有し、協力することができた。 <u>達成</u> ◇市町村国保保健主管課長会議(5月25日開催)にて本事業の説明を行った。 ◇本事業の市町村説明会(7月12日開催)にて、各課事業について説明を行った。 (5) 次年度の仕様書(案)を決めることができた。次年度の業務委託を公募(プロポーザル)し、選定委員会を開催し、委託候補者を決定する予定。	(1) 以下により、市町村との連携調整を図ることができた。 <u>達成</u> ◇市町村状況調査の実施 5月に、市町村ポイント事業の実施状況、連携の意向や本事業の課題等の聞き取りを実施した。課題については、7月に開催した市町村説明会にて対策案を示し働きかけることができた。 ◇市町村説明会の実施 7月12日に、本事業概要や市町村実施状況調査の結果及び課題への対策案の説明、取組事例の紹介等を行う説明会を実施した。開催後、連携開始を早めたい、進めたいとの申出が4市町村からみられた。 ◇ちばチャレ通信の発行 市町村の連携開始に向けた検討を促進するため、事業の最新情報を記載した「ちばチャレ通信」を2回発行し、情報共有を図ることができた。 ◇連携市町村へのフォロー 事業推進に係る相談・調整、申請用台紙の変更、サイトページの追加・修正、連携市町村エリア内の協賛店拡大のための協力、連携、事業ツールの追加発送等の各種フォローを行った。 ◇未連携市町村の連携開始に向けた調整 状況の確認、連携するための課題等のヒアリング及び相談・調整、健康ポイントメニューの事例紹介、申請用台紙の雛形「ち～バリュ～モデル」の送付等の働きかけを行った。 (2) 以下により、協賛店の獲得のための働きかけを広く行うことができた。 <u>達成</u> ◇事務局からの店舗への働きかけ 電話、メール、郵送、SNS広告(Facebook、Messenger、Instagram、Audience Network)、大型商業施設への市町村との同行訪問等を実施した。 ◇県からの働きかけ 各生活衛生同業組合(13組合)、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県厚生農業協同組合への周知協力依頼、県民だより12月号、千葉経協報1月号への掲載等を実施した。県旅館ホテル組合から協賛店登録の申出があったほか、4組合からチラシの追加要望があった。 (3) 以下により、広く県民へ事業周知を図ることができた。 <u>達成</u> ◇県民だより12月号への掲載 ◇専用WEBサイト「ち～バリュ～ネット」による情報提供 閲覧数90,379回(R4.1.13時点) ◇SNS記事投稿 18回(Instagram、Facebook、Twitter) ◇ディスプレイ広告の配信	(1) 市町村状況調査を5月に1回実施し、54市町村(100%)から回答を得ることができた。 <u>達成</u> (2) 市町村説明会を7月12日に実施し、37市町村(69%)が出席した。欠席者も視聴できるように動画配信(8月5日～24日)を行った。 (3) 以下のとおり、市町村からの相談に対応することができた。 <u>達成</u> ◇連携市町村からの相談 17市町村 電話・メール対応 43回 1市町村 訪問対応 4回 ◇未連携市町村からの相談 15市 電話・メール対応 27回 1市 打合せ 1回 (4) 協賛店からの50件の相談に対応することができた。 <u>達成</u> (5) 以下のとおり、啓発資材を作成することができた。 <u>達成</u> ◇事業周知チラシ88,500枚作成 ◇協賛店募集チラシ20,000枚作成 ◇ポスター700枚作成	(短期的なアウトカム評価) (1) 23/54市町村(42.6%) <u>達成</u> 令和2年度 12市町村 } 計23市町村 令和3年度 11市町村 } (2) 4,883枚 <u>達成</u> 令和2年度 1,467枚 } 計4,883枚 令和3年度 3,416枚 } (3) 454店舗・達成率45.4%(R3年度) 令和2年度 458店舗 } 計912店舗 令和3年度 454店舗 } 【地域別】 ベイ・東葛飾: 410店 北総: 262店 九十九里: 70店 南房総: 170店 【協賛店がない市町村数】 5市町 ----- (長期的なアウトカム評価) ○評価項目の現状値 県の健康寿命の延伸 男性 72.61(R元年) 女性 75.71(R元年) その他、健康ちば21(第2次)評価指標の進捗状況で、今後評価していく。
総合評価	【全般】事業が円滑に進むよう、委託業者と月1回以上の打合せを行い、進捗状況や課題の整理、解決策等について確認しながら事業を実施することができた。 【市町村連携】5月に市町村実施状況調査を行い、市町村ポイント事業の実施状況、連携の意向や本事業の課題等を把握することができた。また、市町村説明会を7月に開催し、事前に現状調査で把握した課題について、説明会で解決策を示したことにより、連携開始を早めたい、進めたいとの申出が4市町村からみられた。令和4年1月末時点で23市町村(42.6%)と連携することができた。 【協賛店獲得】事務局からの各媒体を使った働きかけや、県から広報や関係団体へ協力依頼等を実施し、協賛店獲得に向けた取組を行い、登録の検討をしていただけたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令等により、事業を縮小する店や担当者のリモートワークにより停滞してしまう等の影響があった。特に、飲食店においては、働きかけが難しい状況があり、年度当初目標の1,000店舗の達成が難しかった。 【次年度へ向けて】 ・ 令和4年度中の連携開始予定が6市町、開始時期は未定だが連携検討中が11市町となっている。次年度以降も連携開始予定の市町村とスムーズに連携が開始されるよう、調整を図っていく。また、連携市町村を増やすため、市町村説明会やちばチャレ通信等で既に本事業と連携して実施している市町村の事例紹介を行うとともに、各市町村の抱える課題を把握し、個別に対応する等、連携に向けた働きかけを進めていく。 ・ 協賛店獲得に向けて、事務局、県から働きかける他、日頃からのつながりを活かした働きかけとして関係団体や市町村、保健所へ周知の協力を依頼していく。 ・ 連携市町村数、協賛店舗数、県民の事業参加者数ともに不十分であるが、3つは相互に関連しており、相乗効果で事業を発展させることができるものであると考えるため、今後も並行して拡大に向け、努めていく。			